

認定特定非営利活動法人
しみん基金・こうべ

2023 年度事業報告書



2024(令和6)年6月

総括

市民活動団体の2大課題は、財政不足と人材不足という点は長年変わっていない。当基金はずっと財政不足の問題を解決するべく事業を実施してきた。今年度は対面での市民活動が増え、社会も以前の状態に戻りつつある。コロナ禍で減っていた助成申請の団体数も4年前と同じほどになってきている。しかし財政面では物価高騰などで企業からの寄付は増えず、自転車操業であることは何も変わっていない。助成制度の見直しや新たな寄付の仕組みなどについては手付かずのままとなっている。状況打開のため以前から検討中の休眠預金制度は法施行5年の見直しで新たな事業スキームが創設された。こちらについても今後検討していく必要がある。ただなかなか現状では道筋は見えておらず、最近では助成事業より、2大課題のもう一つの課題である人材不足解決のための中間支援事業の比重が大きくなってきている。

成果と課題

①助成事業

今年度も概ね予定通り実施することができ、7団体に助成した。財政的問題から特定枠は1団体にせざるを得なかった。助成申請団体数は元に戻ってきている。事前相談の件数も昨年より増えた。23年度は助成申請締め切りを早め、書類審査時に質問したい事項を連絡いただいて、書類選考日までに団体に問い合わせる時間を設けた。新年早々能登での大きな地震があり、来年度は特定枠について例年とは少し違う形式を検討する。

はあ〜とふるふぁんどは今年度も兵庫県遊技業組合の決定により今年度も休止で、来年度もまだ再開の予定はない。

②寄付・募金事業

白鶴酒造(株)ご協力の酒蔵開放時の寄付付き有料試飲を再開していただくことができたが、物価高騰により(株)フルハウス技研のご協力での寄付つき商品の仕組みが終了となってしまったため新たな寄付の仕組みを開拓していくことが急務である状況は変わっていない。来年度助成事業では能登支援を行うためのクラウドファンディングを実施し助成原資の確保に努めたい。

③中間支援事業

2017年度より管理運営してきた「市民活動応援サイトつなごう神戸」が、2021年10月に行ったレスポンス化により、個人登録者が急増したことを受け、神戸市が市の事業とすることと決定し、新たなマッチングサイト「ぼらくる」を立ち上げた。この新サイトも引き続き事務局を担うべく公募に申請し来年度からの受託が決定した。

また対面でのマッチングするイベント「NPO 地域貢献フェア」を三者共同体の一つとして受託し、つなごう神戸との相乗効果を生んだ。

④運営管理

移転により狭くなり、会議等しにくいことや必要機材調節の経費がなく困難な面が多い中、最低限の運営をしている。

目次

総括	2
目次	3
1 助成事業	
ア) しみん基金・こうべ助成事業	
①2023 年度助成事業	4
②2023 年度しみん基金・KOBE 特別賞	6
③2023 年度黒田裕子賞	6
④2022 年度助成事業成果報告会	6
イ) はあ〜とふるふぁんど支援事業	6
2 寄付・募金活動	
ア) 寄付金・募金受入	8
イ) イベント募金	9
①こうべ・あいウォーク 2024	
ウ) 協働企画型寄付システム	9
①古着チャリティ事業	
②寄付つき商品（耐震補強パワープレート、有料試飲）	
③Yahoo ネット募金	
④その他	
エ) 遺贈寄付	10
3 中間支援事業	
ア) 「つなごう神戸」運営事業	11
イ) KIITO:300 社会貢献事業	11
ウ) 広報・情報発信	11
エ) NPO 支援活動	12
オ) オンライン IT ツール活用講座	12
カ) NPO 地域貢献活動フェア	13
4 運営管理	
ア) 会議	14
イ) 管理等	14
ウ) 運営上の重要事項	15

1 助成事業

ア)しみん基金・こうべ助成事業

①2023 年度助成事業

1)助成の趣旨

しみん基金・こうべの助成事業は、地域を愛する多くの市民・企業等が自発的に寄付という形で資金を提供し合う形で基金を形成し、それらを市民社会組織に対して開かれた自律的なルールで助成することで、阪神・淡路大震災で体感した支え合い・助け合いの大切さを、公共を行政だけに頼ることなく自律かつ自立した市民一人ひとりによる共助・互助をベースとした草の根市民活動を促進し、真の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的としています。

2)応募対象者

1. 阪神淡路大震災被災 10 市 10 町を原則に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
2. 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
3. 団体として継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力・体制を備えた団体
4. 正味財産が 2,000 万円以下の団体

3)助成金額

2022 年度助成事業は、助成総額 225 万円を助成しました。

助成の区分	一般枠	特定枠
助成対象分野	活動分野に限定はなし。	東日本大震災や熊本地震など大規模自然災害で被災した人々を支援するボランティア活動に限定。
助成限度額等	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 50 万円 を上限とする。 助成総額は 200 万円までを予定。	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 25 万円 を上限とする。 助成総額は 25 万円までを予定。
審査選考方法	書類審査を経て、団体訪問によるヒアリング調査を行い、審査会によるプレゼンテーションにて選定。	

4)助成事業の内容

1. 2023 年度基本方針：A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。
B. 地域との連携の観点を重視する。
上記 A B の一方、もしくは両方をふまえた申請内容とすることとした。
2. 助成対象期間：2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日まで。
3. 選考優先事項：助成先選考にあたっては、上記の基本方針を踏まえ、かつ市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性のあるものを、優先した。
4. 助成対象経費：給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金）※交際費は対象

外。

5. 申請受付期間；2023年7月20日（木）～2023年8月28日（月）
個別相談団体数：件
申請受付団体数：団体（一般枠：団体、特定枠：2団体）

5) 書類選考

申請締め切りを少し早め、理事による事前採点表提出時に、団体への質問がある場合は質問票に記入し提出いただき、事務局で理事会までに該当団体に問い合わせる回答をまとめた。
その後、9月19日の理事会にて、その回答も参考にしながら書類選考を行う予定にしていたが、議長不在により理事会不成立となった。後日仕切り直すといった時間的余裕はなかったため、事前に提出された採点合計点を参考にしながら、村井副理事長が採択決定した。

6) ヒアリング調査

以下の通りヒアリング調査を実施した。
期 間：2023年10月2日（月）～10月9日（月）
形 式：当基金理事による訪問（もしくはオンライン）、ヒアリング調査報告書の作成

7) 公開審査会

書類選考された15団体のプレゼンテーションによる公開審査会を、以下の通り開催した。
開催日時：2023年10月30日（月）13:00～17:00
会 場：こうべまちづくり会館
出席審査員（順不同・敬称略）：
津久井 進（審査員長）、相川 康子、岡野 亜紀子、岸 桂子、辻 幸志、
鷺本 郁、藤本 真里、本荘 雄一、森崎 清登、山田 剛司

8) 助成先決定団体・事業

公開審査会での選考結果を受けて、下表の7団体（一般枠；6団体、特定枠；1団体）の各事業に合計2,250,000円（一般枠；2,000,000円、特定枠；250,000円）の助成金を交付することを、同日に開催された当基金理事会にて決定した。

区分	番号	団体名	事業名
一般枠	1	（特活）全国夜間中学ネット	学習支援塾 みんなラボ 長田・甲南
	2	（特活）ミャンマーKOBÉ	増えるミャンマー人への支援強化と、自らの課題解決 活動の支援
	3	任意団体たらぶ準備会	孤独・孤立対策支援活動事業 一ひきこもり（特に8050問題、就職氷河期世代など喫緊の課題に対処するため）に特化したプラットフォームを基盤とした伴走型支援活動
	4	面会交流支援センターピロティ	子どもの利益となる面会交流等の支援事業
	5	多文化共生センターひょうご	多文化・多世代の顔がみえるまちづくり
	6	まちの本屋上映実行委員会	ドキュメンタリー映画まちの本屋上映会等の実施
特定枠	T1	あすパ・ユース震災語り部隊	灘区成徳地区における、若者による震災の伝承活動

9) 覚書締結・助成金交付

上記各団体とオンラインにて、2023年11月10日（金）に助成金交付に関する覚書を読み合わ

せ、郵送にて締結した。また、11月30日（木）に、各団体に対して助成金を交付した。

10) 助成先団体活動レポート

例年、助成先団体が助成金を使用してどのような成果を生み出しているのかを、広く寄付者や市民に知ってもらうため、助成先団体を訪問して、その活動の様子をレポートとしてまとめて、当基金ホームページで下記のとおり発信している。

- ・8月 (特活) フェミニストカウンセリング神戸(オンライン)
- ・8/25 (特活) 全国夜間中学ネット
- ・9/10 ボランティアグループでいんぷる
- ・11/26 面会交流支援センターピロティ

②2023年度しみん基金・KOBE 特別賞

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与している。公開審査会同日に開催された理事会の審議により、今年度は一般社団法人パートナーズに決定し、2023年12月4日の成果報告会時に贈呈した。

③2023年度・第7回黒田裕子賞

この賞は、当基金の初代理事長であった故・黒田裕子さんの意思を引き継ぎ、その実績や功績に見合った活動を行っている団体又は個人を年1回表彰するもので、2017年度より創設されました。

理事の推薦の中から村井副理事長の決定により、第7回の受賞者は全国災害ボランティア支援機構に送ることに決定し、上記の審査会にて贈呈した。

④2022年度助成先事業成果報告会

2022年度助成事業（助成対象期間：2022年10月1日～2023年9月30日）について、10月末日までに事業報告書を提出頂きました。今年は初めて夜間開催としました。

- ・ 開催日時：2023年12月4日（月）18:00～20:20
- ・ 開催場所：こうべまちづくり会館
- ・ 発表団体：（一社）神戸親子遊び推進協会、ひょうご子どもの水辺交流会、
（特活）全国夜間中学ネット、ボランティアグループでいんぷる
（公社）兵庫県精神福祉家族会連合、
（特活）フェミニストカウンセリング神戸、
リレー・フォー・ライフ・ジャパン神戸実行委員会、
神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti、全国災害ボランティア支援機構
※神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti は、事業が実施できず助成金を返還されましたが、その原因などを発表されました。

イ) はあ〜とふるふあんど支援(ボランティアあしすと部門)事業(受託事業)

21世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ〜とふるふあんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。(はあ〜とふるふあんど申請書より抜粋)

当基金は、この支援事業のうち「ボランティアあしすと」部門の事務局業務を平成14年度より

毎年受託しています。

- ・主催：はーとふるふぁんど実行委員会（神戸新聞グループ、兵庫県遊技業協同組合）
- ・支援対象 兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている 5 名以上で構成される団体。
- ・支援金額 全体の活動費の 4 分の 3 相当で、最高 100 万円。

- ① 2023・2024 年度事業
ともに兵遊協理事会の決定により、実施が見送られた。

2 寄付・募金活動

ア) 寄付金・募金受入

以下のみなさんより寄付金を頂いた。(敬称略・順不同)

中谷 豊	飛田 雄一	中島 秀男
安原 武志	高田佳代子	諫山 一彦
杵澤 正明	山田 剛司	髯本 郁
津久井 進	山口 一史	室崎 益輝
白水 士郎	近藤 マヤ子	岸 桂子
岡野 亜紀子	梁 勝則	高橋 智子
大崎 育代	朴木佳緒留	藤本三枝子
藤島 幸彦	森 則人	石田 祐
(株)フルハウス技研※1	宗教法人真如苑	白鶴酒造(株)※1
ヤフービジネスサービス	芦屋西宮市民法律事務所	今津建設(株)
(有)神戸国際マーケット※2	兵遊協福祉基金	あじさい基金
こうべあいウォーク 2024 実行委員会		
審査会場募金箱	サロン・ド・あいり募金箱	オレンジスリフティ募金箱

総額 ￥2,289,787.-

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

なお、※1印は寄付つき商品によって、※2印は現物寄付によってご寄付を頂きました。



イ) イベント募金

① こうべ・あいウォーク 2024 (協働事業)

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして、オフラインとオンラインとのハイブリッドで開催した。オンラインではクレジットや銀行振り込み、Tポイントにてご寄付いただいた。

※神戸マラソンフレンドシップバンクの寄付先です

■主催：こうべ・あいウォーク 2024 実行委員会 ((特活) 神戸まちづくり研究所、ふたば学舎、(認定特活) まちコミュニケーション、(認定特活) しみん基金・こうべ)

■協力：近畿労働金庫、生活協同組合コープこうべ

■日時：2024年1月14日(日) 9:30~13:00

■場所：長田区(大国公園、カトリックたかとり教会、鉄人28号、大正筋商店街、ふたば学舎(旧二葉小学校)、丸互市場、本町筋商店街、水笠通公園、御蔵南・北公園など)

■実績：寄付金額/¥179,929.-

ウ) 協働企画寄付システム

① 古着チャリティ事業

この事業は、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンドレイジングを目的としている。

引き続き(有)長崎屋ホワイト急便神戸と提携して、クリーニング回収チェーン店3店舗に「古着寄付BOX」を設置して、古着チャリティ事業の認知度を高め、古着寄付の増加に努めた。また、毎月住所のわかる寄付者にはお礼状を送付した。

■提携先：(有)神戸国際マーケット 寄付金額：¥211,976.-

② 寄付つき商品

1) 耐震補強金具パワープレート

(株)フルハウスミル並びに(株)フルハウス技研のご協力により、古い木造建築物の耐震補強工事で使用する耐震補強金具パワープレートを、直施行した現場施工分の年間売上高の5%が当基金へ寄付された。毎月施主あてにお礼状を発送した。

■提携先：(株)フルハウスミル・(株)フルハウス技研 寄付総額：¥538,230.-

2) 白鶴酒造(株)

白鶴酒造(株)のご協力により、毎年開催される「2023年秋酒蔵開放」での有料試飲コーナーの売上の一部をご寄付いただいた。2019年度もご寄付いただいたが、その後コロナ禍でイベント自体を中止されていたが春の蔵開きから再開された。

■提携先：白鶴酒造(株) 寄付総額：¥470,000.-

③ Yahoo ネット募金

引き続き「Yahoo! ネット募金」にて、余ったTポイントや期限切れ間近のTポイントを寄付できる仕組みに登録している。2024年あいウォークもオンラインとオフラインの併用開催だったため、ご寄付はこちらのサイトからもいただいた。

■提携先：ヤフー(株) 寄付金額：¥46,713.-

④ カイトリ

家にある価値はあるけど使わないモノを当基金へ寄付できる買取寄付プログラム「カイトリ」に登録している。

■提携先：(株)シン・ファンドレイジングパートナーズ、寄付金額：¥0

⑤ その他

1) ろうきんNPO寄付システム 提携先：近畿労働金庫、寄付金額：¥6,000.-

2) 募金箱・自販機募金 協力設置場所：2ヶ所 募金金額：¥25,127.-

- 3) 印税寄付 「災害看護の本質」による印税寄付 寄付金額：¥0
- 4) Gochiso レストランで食事をする と寄付できるしくみ 寄付金額：¥0

エ) 遺贈寄付

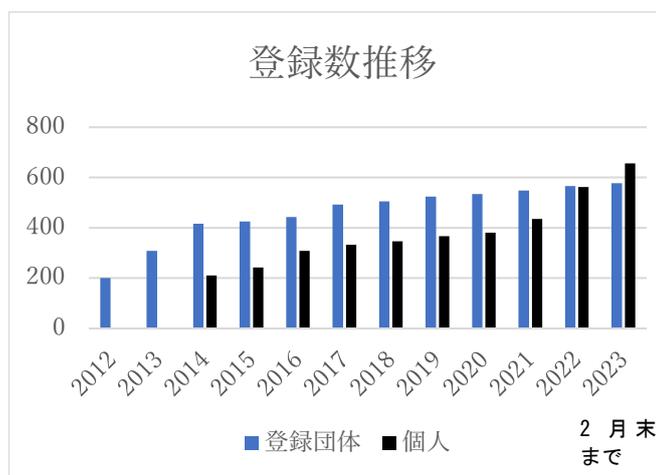
遺贈のご案内

ホームページに遺贈のページを掲載している。また司法書士事務所を介し、お問い合わせいただいた方を訪問しご説明し（1/29）、公正証書遺言を作成頂いた。

3 中間支援事業

ア) 「つなごう神戸」運営事業

市民活動応援サイト「つなごう神戸」は、ボランティアしたい人とNPOや市民活動団体をつなぐとともに、社会貢献をめざす企業が協働先を探すお手伝いをする、マッチングサイトとして、2017年より神戸市との協働で運営してきた。2021年10月に行ったレスポンス化により、個人登録者が急増したことを受け、神戸市が市の事業とすることと決定し、新たなマッチングサイト「ぼらくる」を立ち上げた。この新サイトも引き続き事務局を担うべく公募に申請し3/25のプレゼン等を経て来年度からの受託が決定した。



1) 運営協議会

- ①委員の構成：認定NPO 法人しみん基金・KOBE、竹の台地域委員会、日本たばこ産業(株) システム・ナロウズ(株)、大学コンソーシアムひょうご、神戸市地域協働局地域活性課、社会福祉法人神戸市社会福祉協議会
- ②協議会の実施：第1回：11月10日(金)11:00~12:00 KIITO:300
第2回：3月15日(金)11:00~12:00 オンライン

2) 実施内容

- ①サイト管理
問い合わせ日常業務対応
メルマガ発信 147号~171号・SNS活用
メール不通団体への連絡・処理
行政情報転載
- ②協賛金獲得営業活動

3) 成果

- ①登録団体数：578団体（前年度12団体増）、個人659名（登録571名（前年度34人増）、非登録88名（前年度28名増））
- ②つながり数：539件（前年度164件増）

イ) KIITO:300 社会貢献事業

新設されたKIITO:300において実施される相談事業や講座事業に関わった。

- ①相談対応：1件 4/20
- ②講座：7/14 300秒プレゼン交流会 市民活動の助成と活動実績について

ウ) 広報・情報発信

- ① ニュースレター発行：3回
 1. 第60号：2023年7月、第61号：2023年12月、第62号：2024年3月
 2. ホームページに掲載
- ② ホームページ、SNS：トップページ、助成事業等の適宜更新

1. 最新記事を 12 本掲載。 FB：最新記事を 17 本掲載
2. 移転に伴う HP 記載変更
- ③ メルマガ等発行：回
- ④ 検索サイト Google 広告による広告掲示回数(2023 年度)
 1. 表示回数 36,400 回 クリック数 2,830 回 クリック率 7.77%

エ) NPO 支援活動

- ① 居場所サミット

日時：8 月 27 日（日） 14：00～17：00
場所：兵庫県民会館 11F
実行委員会議：5/18、8/3、9/12
- ② 兵庫県共同募金配分委員会

第 2 回日時：7/25 13 時
場所：兵庫県福祉センター
第 3 回日時：11/14 10 時
場所：兵庫県福祉センター
第 4 回日時：12/7 13 時
場所：兵庫県福祉センター
第 5 回日時：3/6 13 時
場所：兵庫県福祉センター
- ③ 神戸市マッチングシステム検討会

日時：4 月 27 日(木) 13：00～15：00
場所：神戸市役所
- ④ ひょうご中間支援団体ネットワーク全体会

日時：7 月 20 日 13:30～17：00
場所：姫路市

オ) オンライン・IT ツール活用講座

市民活動団体の財政確保や人材不足を補う一助としての IT スキルを持った人材育成を目指す。

助成：ひょうごボランティアプラザ地域づくり事業

日時：7 月 6 日 9:00～10：00 講師との事前打ち合わせ

日時：7 月 11 日 11：00～12：00 講師との事前打ち合わせ

日時：8 月 24 日

①10時～12時 参加者：12名

②18時～20時 一般(スタッフ)：10名(2名)

内容：簡単デザインチラシ・画像作成講座

講師：岡秀和氏（おたがいさまプロジェクト/関学ボランティアセンター）

日時：9 月 13 日

①10時～12時 参加者：11名

②18時～20時 一般(スタッフ)：9名(2名)

内容：簡単フォームアンケート・申込ツール講座

講師：岡秀和氏（おたがいさまプロジェクト/関学ボランティアセンター）

日時：10 月 20 日

①10時～12時 参加者：12名

②18時～20時 一般(スタッフ)：10名(2名)

内容：クラウドファンディングのコツ講座

講師：奥田彩花氏・内藤千賀氏（コングラント(株)）

日時：10 月 25 日 15：00～16：00 スタッフ 4 名 事業の振り返り

カ) NPO 地域貢献活動フェア

神戸市より委託を受け、認定NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸、および智雲ボランティア活動研究所との共同事業体として、市内東・西2か所で「NPO・地域貢献活動フェア」を開催。CS 神戸を統括事務局とし、当基金は東部会場を担当。

団体説明会日時：1月15日（金）15：00～16：00（オンライン）

日時：2月18日（日） 13：30～16：00

場所：兵庫県学校厚生会館3F

出展団体：28団体

参加者数：99名（参加者77名+スタッフ13名）

インターン期間：2/19～3/17

インターン参加者（日程確定）56件、（日程未確定）7件

インターン実参加率73%

実行委員会：11/29, 12/5, 12/12, 12/20, 1/10, 1/16, 1/24, 2/1, 2/7, 2/14, 2/21、
2/19, 3/13, 3/27

※来年度の継続予算化について7団体連名で神戸市に提案書を提出した（3/19）

4 運営管理

ア) 会議

① 定時総会

開催日：2023年6月7日（水）18:00～19:00

開催場所：

出席会員数：16名（うち委任状提出11名）、正会員数：29名

審議事項：（1）2022年度事業報告並びに決算報告
（2）2023年度事業計画案並びに予算計画案
（3）役員交代について
（4）基本財産取り崩しについて

② 理事会

1. 2023年5月16日（火）開催場所：オンライン

審議事項：2023年度定時総会（6/7）に付議する事項の件、年度スケジュール

2. 2023年9月19日（火）不成立

3. 2023年10月30日（月）開催場所：こうべまちづくり会館

審議事項：助成先団体・金額の決定、「しみん基金 KOBE 特別賞」の選考

4. 2023年3月4日（月）17：30～19：00 開催場所：オンライン

審議事項：2023年度事業報告、2023年度決算見込み、2024年度事業計画、役員改選について

④ 監査 2023年5月1日（月）開催場所：しみん基金・こうべ 事務所

監事（敬称略）：森田拓也氏、濱西敏郎氏

⑤ 理事・審査員合同会議

2023年7月26日（水）開催場所：小野柄地域福祉センター

議事内容：助成概要の変更点、公開審査会までのスケジュール、審査基準、ヒアリングシートについて、審査会の開催方法

イ) 管理等

①所轄庁への事業報告書提出 6月下旬

②認定法人関係報告書提出 6月下旬

③会員向けに、年賀状・毎月お誕生日カードの送付

④正会員異動・会費内訳一覧

	期首数	期末数	異動原因	決算額	決算内訳	未納者数
個人	26	24	1名賛助会員に移 行	270,000	正会員1名退会希 望	0人
団体	3	3		90,000		
合計	29	27		350,000		

ウ) 運営上の重要事項

①休眠預金資金分配団体申請

昨年に続き、コミュニティ・サポートセンター神戸とコンソーシアムを組み、通常枠第1次募集への申請に向け、個別相談と会議を重ねていたが、担当者が見つからないなどの問題があり申請できなかった。

個別相談と打ち合わせなど：4/13、5/10

ヒアリング：4/24 中小企業家同友会
6/23 真生塾

②NPO 法人ドットジェイピーよりインターンを春休み・夏休み各々1名受け入れた。